

令和6年度 文京区障害者地域自立支援協議会

第1回 就労支援専門部会 要点記録

日時 令和6年7月26日(金)14:00~16:00

場所 文京シビックセンター 障害者会館会議室 A・B 会議室

出席者 志村 健一 協議会副会長・市川 礼雄 副部会長・小野寺 肇 委員・小泉 洋平 委員
野村 育代 委員・阿部 光実 委員・長澤 みこ 委員・中瀬 茂由 委員・天野 亨 委員
鶴田 秀昭 委員・望月 大輔 区委員
(ゲスト委員) 松下 功一 委員

欠席者 瀬川 聖美 部会長・藤枝 洋介 委員・阿部 優美 委員・山口 裕紀子 委員・池田 直矢 委員
平井 芙美 委員・大野 聡士 委員・小谷野 恵美 区委員

<会議次第>

1 開会

2 議事

(1) 令和6年度障害者地域自立支援協議会 就労支援専門部会について

【資料第1-1号~資料第1-4号】

(2) 令和3年度~令和5年度障害者・児計画事業実績

【資料第2号】

(3) 令和5年度第2回障害者地域自立支援協議会全体会 報告

【資料第3-1号~3-2号】

(4) 第20回共生のための文京地域支援フォーラムについて

【資料第4号】

3 閉会

<配布資料>

- ・文京区障害者地域自立支援協議会について……………【資料第1-1号】
- ・令和6年度文京区障害者地域自立支援協議会 組織図……………【資料第1-2号】
- ・令和6年度障害者地域自立支援協議会スケジュール……………【資料第1-3号】
- ・文京区障害者地域自立支援協議会の検討状況等……………【資料第1-4号】
- ・令和3年度~令和5年度障害者・児計画事業実績(就労)……………【資料第2号】
- ・令和5年度第2回障害者地域自立支援協議会全体会 報告……………【資料第3-1号】
- ・令和5年度第2回全体会アンケート……………【資料第3-2号】
- ・第20回共生のための文京地域支援フォーラムについて……………【資料第4号】

<参考資料>

- ・共生のための文京地域支援フォーラム チラシ(案)

【開会】

- ・事務局より、欠席者の報告及び、当日資料の確認。
- ・今年度、新しく委員になられた方もあり、各委員の自己紹介。部会当日は、欠席であったがトヨタグループの委員が変更になり、共有する。

【議事】

(1) 令和6年度障害者地域自立支援協議会 就労支援専門部会について

【資料第1-1号～資料第1-4号】

- ・資料について、事務局より説明。

(各委員より)

- ・ご質問、ご意見は特になし。

(2) 令和3年度～令和5年度障害者・児計画事業実績

【資料第2号】

- ・資料について、事務局より説明。

(各委員より)

- ・就労選択支援事業について、令和7年度から入ってくる。令和6年度から準備をしていく必要があるが、文京区として、どのような準備を考えているか？
- ➡文京区としては、まだ具体的な準備はできていない。区内各事業所も関心を持っていることもあり、事業所向けに勉強会を開催する予定になっている（各事業所のアセスメント方法についての情報共有）。
- ・超短時間就労については、制度として整ってきているが、HW 飯田橋として求人等の情報はるか？
- ➡現状、求人については飯田橋管内（文京、千代田、中央）については、皆無である。会社の意向としても、「労働力としては、難しい」との判断もあり苦しい状況である。
- ・マッチングの問題について、「どのような仕事ができるか、どのような業務にするのが良いか」等、迷われている。アセスメントについて、どのような方法を考えられているか？
- ➡具体的なことは検討段階であるが、現状では対象者との対面での面談が主になっている。就職されている方は、職場環境でのアセスメントも実施している。今後、新たに相談に来られる方に、作業アセスメントが取れるような体制作りを検討している。

(3) 令和5年度第2回障害者地域自立支援協議会全体会 報告

【資料第3-1号～資料第3-2号】

- ・資料について、事務局より説明。

(各委員より)

- ・ご質問、ご意見は特になし。

(4) 第20回共生のための文京地域支援フォーラムについて

【資料第4号】

- ・資料について、事務局より説明。
- ・チラシ(案)について、松下氏より説明。内容が詰まってから正式なチラシを作成する。
- ・今回「仕事」をキーワードで企画している。企業の方が好意的な印象である。「仕事」となると、会社の方のみならず、会社までの行き来の途中にいる方々も含めて、「仕事」になる。色々な方々に広めていければと思う。
- ・昨年度の部会にて、「3障害の方が対象になる講演会」というご意見もありましたが、今年度は、知的障害、精神障害のある方が対象の講演会になっている。来年度 Orihime を取り上げ、身体障害のある方、難病疾患がある方にスポットライトをあてた事例などのフォーラムを予定している。

(各委員より)

- ・チラシ案にある「GH 入居者で働いている方」という内容に、とても惹かれる。働いている方が、「どのような生活をしていて、仕事を行っているか」、「地域の中で、落ち着いて暮らしている」ということが、住民のかたの安心感につながるのではないか。可能であれば「GH 入居者で働いている方」でお願いしたい。
- ➡今回は、2 事例とも実家生活となっている。「将来生活」についても、講演内容に入れていく。
- ・各作業所からのスライド紹介の中で、地域との接点も考えて、作業の工賃アップの点で、仕事の内容の紹介を入れて、参加される企業から「これならやってもらえるかも」と作業の話が出てくるようなことも考えられるのではないか。
- ➡チラシの下に、記載していく予定である。
- ・「働く」というキーワードで企画しているが、色々な人たちの手助けが必要になっている。せっかく働いているのに、10 年、20年後、現在と同じような生活は出来ないと思われる。文京区内には GH が極端に少ない。GH の入居する為に、他県に行かなければならないケースもある。そのような現状もあることを知ってもらう機会になっても良い(訴えかけていく)。
- ・独居の方で、次の家を探す際、障害者のことを良く思わない人もいる。障害者になって外に出ると、環境が大きく変わってしまう。居場所を作ることも必要になる。
- ・企業の方からの相談で、障害者雇用を良く分からずに問合せをしてくるケースもある(単に必要人員のみ言ってくる等)。マッチングの難しさも感じている。企業同士の横のつながりになるような会を期待したい。
- ・初めて障害者雇用を行う企業担当者向けにも「働いている方の声」、「人事ではなく、現場担当者の声」が聴けると良い。
- ・周知先について、区内の主な場所としては、B グル、区設掲示板、区報、図書館への配架を考えている。今回のテーマでは、企業の方にも周知していても良いと思われる。
- ➡区内中小企業に対して、経済課より送付物があると思われる為、障害福祉課が窓口となり調整していく(商店街連合会等にも)。
- ➡中小企業向けについて、現在でも郵送で求人票を送付している事業所もある為、その中にチラシを入れて込んで案内できると思う。
- ・企業パネル展の資料で、Q の2問目、「対処」という言葉であるが、ちょっときつい印象になる為、「配慮」に変えてはいかがか。
- ・初めて障害者雇用を行う企業担当者向けにも「働いている方の声」、「人事ではなく、現場担当者の声」

が聴ける質問があると良い。

・配慮事項は、それぞれのケースに合わせた内容になるが、「わが社では、このような配慮事項を行っている」という具体的に聴ける質問もあって良いか。

●今回、部会にて出たご意見等を整理して、各協力先に8月中に説明し、9月中には形になるように調整して行く。進捗状況について必要に応じて、共有していく。

【閉会】

・次回(第2回)の就労支援専門部会については、11月中旬頃開催予定。